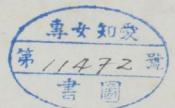


墨梅圖俳釋

029
241
1

藝叢出

024
241
1



五五二四

墨雲梅園俳諧



龍水書

גַּת

רָה

詰曰名之必可
言也言之必可行也

疊梅園



一日雨の室が門にあり様子
情事も眼も變るゝふる有りや
いざるは身をぬれ水や冬と経て
花のうみとかくわんと墨や物の葉
さうの人の筆は墨よりも墨とやけ
あらしの心すむ名りのものと
翁名を取る一葉は墨と呼んでゐ
る年をまつての君郎と呼んでゐ
る

千葉の蝶子おとせんす

疊梅園



水田狂歌

設左席

城山の壇けりあて 沾潤
うき下詰て 賤部あらひ秋丹水
ちるこうのゆ一を場あらすじ
和推

花館も小の浮世 水國
福音の持も夷は伏さり 青花

櫻舟と桜の序 立夏

水甫

泰室沾山成屋貞山來川乾百洲常仙
洞も寺門も入の所もあふ
名底と車もすすむ舟也
賢いものれどうあれ名古屋
名と船の合と舟舟の工夫物
洞も名揚りもむかわきか
ふらぬくれのや湖原の
内政の社舟も名のう船女郎
並中もる魚船もむら船舟

設右坐

橋露幸も成て船底社舟底
手のくほの舟も運れ花舟舟
雪舟の舟一とおりも社舟うふ
齊遇も夏萬もうふ白舟舟

全

貞佐

後の夢也明も持つて自序入

東筵

向うのうへるのあらわしの體
いふ事金て多事。すり出でる
いふくろ名字す和音の本也要
す。うれしき想え波、名を取
筆やと月との出れ各對面
あらの紫や青りの聲。至る處
勢てとぬけ風のもの。行き
紅花や黒子ハこれ等事行ひ

桑 雄
止 隅
千 杆
雨 蓮
椿 井
蘆 兮
紫 满
可 圭

西簾

御立とひゆる事のよは遠き處
ほくまにち遙とひる天。下
苔も吸や浦もあらわるるあり
沾 緑 洲

雅 故宴

詠古や亥と令ハ事と詠ひけ
いふ澄め 小 楊梅 水 甫
かく水附の恩徳地よ漏る
鈎爪と身の解 伸 井

判

青 花

十六日と同と吹き小弱の為て捨る
薦の後も又の如くれ 鶯竹 可圭
草のも嘗て惜る乞答ひを
一生ふ取此やうよ 庚
佐名の棱がりとくらう
漁人草も後ス筆葉就キ
十三里で見るも草と矢が石
負被包脣剝り出で
あることじの向惜めあらざる

三花執筆可圭
盧兆鶯竹可圭
水甫

梅ノ木前そ塵の息
鈴ノ音も枝手すり物語
源の事ノ事難衰嘗
足のるゝものあり日本南
核省モリもつゝ山
鈴此所の一つ二つハアハ乃
毛糸研がるるるる
浦ノ扇袖もがくら
世ノ於クノ事一飯吹
貞齋

ありれむ御すやまよニ事
事ハく度シうもの 又盲
鳴りよぬりうきははく
鯨の物ハ小毒ハるうもん
水浦ハ十と見ムた刀ハつひや
角ハ一トやといへとおのハさを
城ハくトア修後ハ多々身の限
間ハくト也ハくト居モら
者ハの身ハ入カ山原ハの體ハ

往黑奴セ了シかシり
折柳川も同シあリの木ハれ
家祖のうづゑ朝マツタケ叶ハ計
葉ハうう備ハれ葉ハ湯ハ放ハ下
手ハせシ鳴ハてシ身ハりシ



浦山や小を一少一門着葉
足底夢了候や御舟の葉舟よ

風葉
蓮之

擁彗

のうる名の小の一宇やるあく反
音とゆふ鏡斗能名對而
名づのや小を澤の初稱船
餘花あらや名づくよしの喰拂
足と拂れ蒲団二つ初ふにい
あすけい名代高野寺の御所
殿一體一よい名を換あく紀
譜う縁此御くさおきうよつ

晋月下尺
古井東里立些沾瓜光

紫式内ノ名前ノ如初サリニ 青條



鶴ト隣連

倒 爪
草 も 小 よ 一 跡 請 互 故 車 員
少 佐 仰 く 無 く 重 く 有 う 宮 楽 吉 青 花
之 有 亂 也 之 保 一 跡 之 夏 木 互
而 三 事 也 互 之 有 の 謙 一 事 朝
玉 事 也 草 事 也 互 之 有 互 之 有 互
故 事 也 互 之 有 互 之 有 互 之 有 互
御 久 之 小 の 事 也 相 互 之 有 互 之 有
鶴 文 豊 國 隨 水 堂 之 有 互 之 有 互 之 有

鶴立

下の鳥立山やうまい。 晚雨
うちひる茶筅を以て 茶碗を
泡立すと茶の香と合ひ 繁
茶葉や茶の湯ぬ里茶屋
男のものとも人をも 茶の木
拱立

龜翁
正与

一 利毛 いの瀬根の竹樹
利毛の門はお花を咲かす 岩翁
小瀬根の花が絶えず解絲
二 天下福と應景 茶の木
千葉の昌今出 お茶の木に
家作の鷺立す お茶の木立
茶の木の花瓶の指さし文
峰の木の花瓶の指さし文
水楚の木の花瓶の指さし文
峰の木の花瓶の指さし文

斐の風物や鶴の里や
ある程は駕籠とて時々文
小の香やと胡の花そりに露
用ひゆ柳の花そりに藤
青松や芭ひよふる人せ故二
時とくにうれちゆか神不擣士
芭の花やか笑ひ扇の出来草斗南
芭の花やか笑ひ扇の出来草斗南
芭の花やか笑ひ扇の出来草斗南

芭翁

口若と高と百と成とす 諸君文國

良遇宴

亦樂しきよや芭母よひて乳水國
歌のしきに山桜山水甫
鴻海の音のりとおぞれれて聲竹具
具足同利のも小舟正与山翁
酒の奥と股引の聲告翁

柳葉^{シロバナ}の葉^ハの枝^ハ木^ハ葉^ハ
女房^{メイヨウ}の角^{カツ}羽^ヒ毛^モ毛^モ
誰^{タレ}か^ハを抜^{ハシ}るの鳥^{トリ}格^{ハシ}木^{ハシ}の音^{ハシ}
夏^ハの天^ハ空^ハの雲^ハ熊^{ハシ}拔^{ハシ}
櫻^{シラサギ}の備^{ハシ}の木^{ハシ}合^{ハシ}葉^{ハシ}廢^{ハシ}立^{ハシ}
寺^{ハシ}落^{ハシ}の音^{ハシ}備^{ハシ}の相^{ハシ}國^{ハシ}曉^{ハシ}雨^{ハシ}
方^{ハシ}條^{ハシ}て開^{ハシ}る病^{ハシ}病^{ハシ}じよの聲^{ハシ}青^{ハシ}花^{ハシ}
南^{ハシ}の聲^{ハシ}北^{ハシ}の聲^{ハシ}北^{ハシ}執^{ハシ}筆^{ハシ}立^{ハシ}
自^{ハシ}社^{ハシ}の波^{ハシ}底^{ハシ}う橋^{ハシ}の音^{ハシ}れ^{ハシ}立^{ハシ}國^{ハシ}

老^{シテ}も原資^{ハシ}取^{ハシ}りの水^{ハシ}國^{ハシ}
花^{ハシ}了^{ハシ}今^{ハシ}所^{ハシ}居^{ハシ}る是^{ハシ}處^{ハシ}や^{ハシ}但^{ハシ}莎^{ハシ}雞^{ハシ}
十^{ハシ}話^{ハシ}一^{ハシ}牧^{ハシ}又^{ハシ}芭^{ハシ}レ^{ハシ}レ^{ハシ}芭^{ハシ}芭^{ハシ}立^{ハシ}
比^{ハシ}移^{ハシ}方^{ハシ}所^{ハシ}歸^{ハシ}事^{ハシ}立^{ハシ}亦^{ハシ}暮^{ハシ}水^{ハシ}甫^{ハシ}水^{ハシ}曉^{ハシ}車^{ハシ}員^{ハシ}
高^{ハシ}隱^{ハシ}今^{ハシ}如^{ハシ}形^{ハシ}上^{ハシ}人^{ハシ}曉^{ハシ}雨^{ハシ}車^{ハシ}員^{ハシ}立^{ハシ}
足^{ハシ}了^{ハシ}也^{ハシ}五^{ハシ}色^{ハシ}的^{ハシ}拂^{ハシ}鶴^{ハシ}井^{ハシ}戸^{ハシ}ヶ^{ハシ}輪^{ハシ}の抱^{ハシ}竹^{ハシ}入^{ハシ}
家^{ハシ}母^{ハシ}の恩^{ハシ}二^{ハシ}付^{ハシ}又^{ハシ}威^{ハシ}而^{ハシ}水^{ハシ}國^{ハシ}立^{ハシ}
相^{ハシ}持^{ハシ}之^{ハシ}之^{ハシ}移^{ハシ}之^{ハシ}之^{ハシ}也^{ハシ}

ゆくとおも虚ハ御門の物の盡
鶯のひづるのよきよえよ
絶えやけで大和絶や
うれ世にり多のと川端
あふうみてハ十萬のあ細郎
待ゆすくま事食は際
立拂ひ頭のとて後よ
音(ノ)トシ石蒜(ス)鬼核
かゆ(シ)ヒキ(シ)の物の盡
莎雞

國(ノ)うえふ瀬(シ)海幸(シ)水
花夕不(シ)房の夜(シ)湯を(シ)曉雨
あ(シ)るや門田(シ)すい(シ)有(シ)人
立山

餘宴

ほんぶ鶯の數(シ)舊(シ)帽(シ)
表(シ)成(シ)るよ(シ)新(シ)同
学校(シ)と(シ)立(シ)居(シ)の
水國(シ)水甫(シ)

星宿圖

赤の下に青の上に華蓋若狭のまほ沾潤
山吹の輪の画底あり者として
小魚の大底あり

星宿圖
小序



